

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 中京圏百貨店等県産品販売フェア開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係 電話番号：058-272-1111(内3817)

E-mail：c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,400 千円 (前年度予算額：7,400 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,400	7,400	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,400	0	0	0	0	0	0	0	7,400
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・県内のモノづくり企業は、OEM・下請け体質の企業が多く、直接消費者の声をモノづくりに活かす経験や自ら販路を開拓するノウハウに乏しいほか、中京圏のバイヤー（卸、小売、商社等）との繋がりも希薄である。
- ・このため、県内企業の商品開発力の底上げや中京圏に向けた販路拡大の取組みに向け、県内企業による消費者向けの取引（B to C）を支援することで中京圏での売り場を確保する取組みが必要である。

(2) 事業内容

- ・JR名古屋駅周辺の百貨店の催事会場や地下の食品売場、大手ホテルなどにおいて、地場産品の販売を開催するなど県産品の販売促進フェアを開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・フェア終了後、百貨店等との取引に係る費用は事業者が負担する。

(4) 類似事業の有無

有

- ・事業名：県産品販路開拓促進事業費（首都圏百貨店等物産展開催事業）
上記は首都圏において、本事業は中京圏において実施する事業。
- ・事業名：県産品販路開拓促進事業費（岐阜県観光物産展開催事業費）
上記は岐阜高島屋と県等が締結した地域活性化包括連携協定に基づき実施する事業。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	443	職員業務旅費
需用費	78	事務消耗品費、県産品（サンプル）購入経費
役務費	24	通信運搬費
委託料	6,855	フェア開催経費
合計	7,400	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「岐阜県成長・雇用戦略2017」
[3]海外展開・販路拡大支援プロジェクト
(2) 国内におけるビジネスチャンスの提供

(2) 国・他県の状況

企業知名度及び県産品イメージの定着化・成果を確認するため、継続的な支援が必要。

(3) 事業主体及びその妥当性

経営規模や業種に応じた見本市への出展支援や催事等を行うことで、県内中小規模事業者が新たな商談の機会を得やすくなり、販路拡大及び、商品や事業者の知名度が向上する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内事業者の販路拡大と商品開発力・販売力向上を図ることで、やる気のある事業者の成長と自立を促し、県産品の認知度向上につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
出展事業者数		14	10	10	10	140%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 11月25日～30日の期間、ジェイアール名古屋タカシマヤ10階催会場にて、「ニッポンいいもの展」に県内3事業者が出展。 1月6日～3月31日の期間、名古屋マリOTTアソシアホテルにて岐阜県産の食材を使用した「岐阜フェア」を開催し、食事提供を通じて岐阜県産品をPR。 <p>指標① 目標：10事業者 実績：3事業者 達成率：30%</p>
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> 3月31日～4月6日の期間、名鉄百貨店本店において開催された「東海の美力（春）」に県内10事業者が出展。 9月29日～10月5日の期間、名鉄百貨店本店において開催された「東海の美力（秋）」にTHE GIFTS SHOPを含む県内4事業者が出展。 <p>指標① 目標：10事業者 実績：14事業者 達成率：140%</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>当該販売フェアの開催は、県の関与により百貨店等とのネットワークを構築でき、バイヤーの目にも留まるなど、今後の大都市圏における売り場確保につながることから、事業の必要性は高い。</p> <p>県内や東海3県での交流の兆しも見え始めているところであり、その好機を捉えた中京圏での販売は、広義の地産地消を促し、さらなる販路拡大が期待できる。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 フェアを一過性のものとせず、事業者の販売力や品質管理の向上に寄与するよう、フォローアップを充実させる必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか テーマを厳選した、より長期間のフェアを開催することで、事業者の販売力向上につながる分析とフィードバックを行い、更に事業効果を高める。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	